

立川市第2次行政経営計画

(抜粋版)



令和2(2020)年
立川市

目次

第1章 行政経営計画の概要	2
1 策定の趣旨	2
2 行財政改革の方向性	2
3 計画期間	2
4 計画の位置づけ	3
第2章 これまでの取組経過	4
1 これまでの取組	4
(1) 財政運営の安定性・継続性の確保	4
(2) 行財政改革の取組	5
(3) 適正な定員管理	6
2 決算からみた市の財政状況	8
(1) 決算規模	8
(2) 財政構造の弾力性	11
(3) 普通会計についての財政分析	12
第3章 市を取り巻く状況について	15
1 今後の推移	15
(1) 人口の推計	15
(2) 公共施設及び都市インフラの推計	17
2 財政収支の見通し	20
第4章 取組事項	22
1 基本的な考え方	22
2 施策体系	24
3 取組事項	26
(1) 経営資源の活用	26
(2) 市民・事業者等との協働・連携	38
(3) 行政経営のしくみ	41

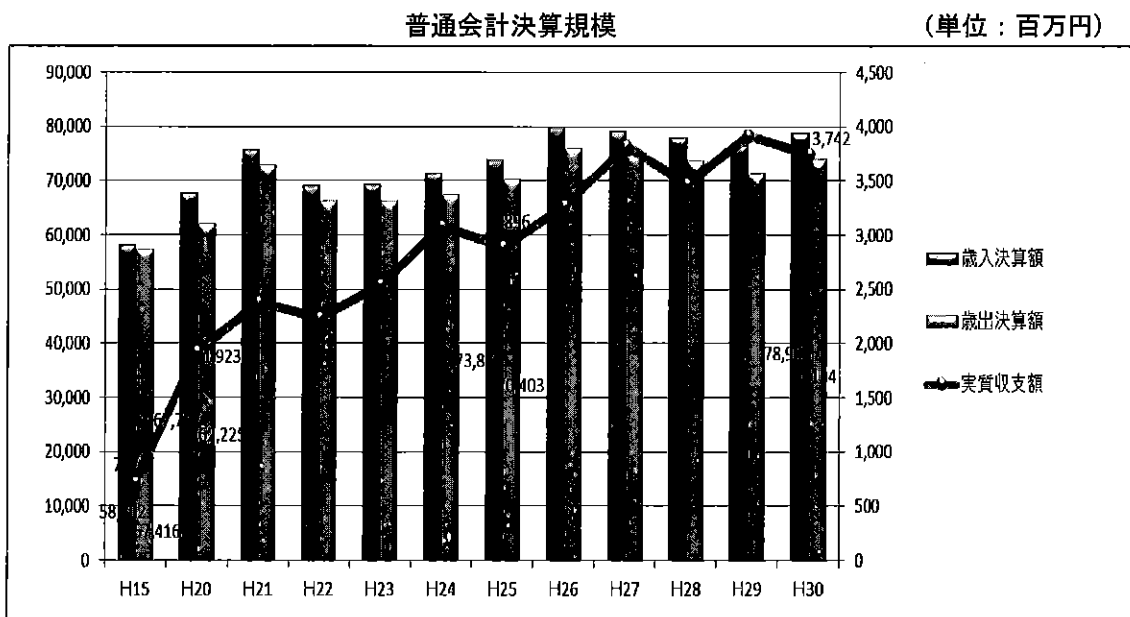
2 決算からみた市の財政状況

平成 15(2003)年度並びに平成 20(2008)年度から平成 30(2018)年度までの決算状況を以下に示します。

(1) 決算規模

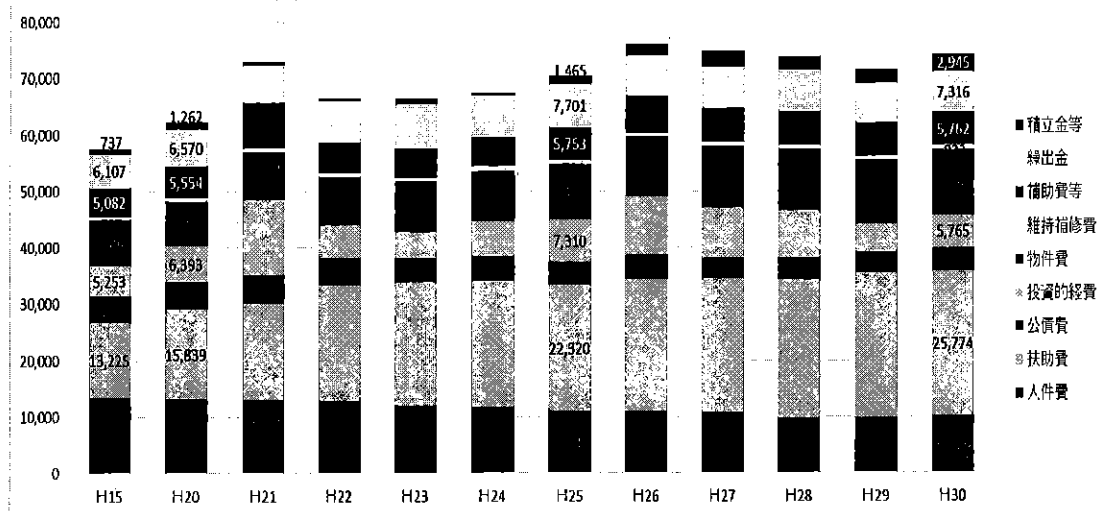
普通会計における決算規模については、歳入は平成 24(2012)年度に 700 億円を超え、平成 26(2014)年度からは概ね 780~800 億円の決算額で推移しています。

歳出は平成 25(2013)年度に 700 億円を超え、平成 26(2014)年度からは概ね 730~760 億円の決算額で推移しています。



歳出(性質別)決算額内訳

(単位：百万円)



特別会計への繰出金については、平成 30(2018)年度は 73.1 億円となり、平成 20(2008)年度と比べ 8.6 億円、13.3%の増額となりました。国民健康保険事業への繰出金は、被保険者数の減少等により平成 26(2014)年度以降減少傾向となっていますが、介護保険事業や後期高齢者医療事業への繰出金は、高齢化の進展等による医療費の増加などにより年々増額となっています。

繰出金の推移(普通会計)

(単位：百万円)

